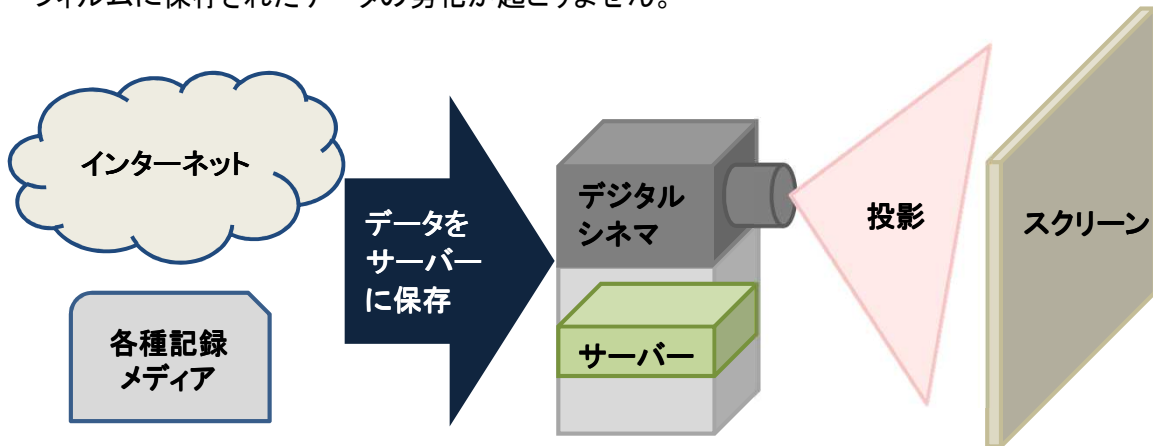


## デジタルシネマについて

昨今、デジタル化の動きが広まる中、3D作品の上映もされるようになり、益々デジタルが普及しつつあります。アナログからデジタルへ移行することで、データの加工に要する時間の短縮や、コスト削減にも繋がります。

### 【デジタルシネマ構成】

投影する映像データを各種記録メディアやネットワークよりダウンロードし、サーバーへ保存します。保存されたデジタルデータをそのまま投影できるため、映写機の問題であったフィルムに保存されたデータの劣化が起こりません。



### 【アナログとデジタルの特徴比較】

#### デジタル

映像データを記録した各種メディア、または、ネットワークからデータをサーバーにダウンロードできるため、フィルムをプリントする必要がなく、コストダウンに繋がる。

データの劣化対策が必要ない。

データを加工し易い。

高解像度。

#### アナログ

映像データの記録にフィルムを使用するため、膨大なプリント費用が発生。

フィルムには、スクラッチや退色、ポップ音やジッタなどの経年劣化が生じてしまうため、コピーする必要がある。

データの加工に手間がかかる。

デジタルと比較して、解像度が低い。

—以上—